TOMYTEC

「鉄道コレクション」専用

対象年齢15才以上

鉄コレ式制御器 国鉄101系運転台型コントローラー 共通取り扱い説明書

〈22413〉フルセット
〈22447〉マスコン・ブレーキセット
〈22448〉メーター・ドア開閉器セット

1.はじめに

このたびは、本製品をお買い求め頂きまして誠にありがとうございます。
このコントローラーは、外観のデザインが実車の運転台に近いばかりでなく、鉄道コレクション専用としての本格的な運転操作がお楽しみいただけます。
ご使用になる前にこの取り扱い説明書を十分にお読みいただき、正しくご理解のうえ運転をお楽しみください。

鉄道コレクション 動力車専用 | トミックス ファイントラック専用 | 専用ACアダプター D.C.フィーダー付属

トミックス電動ポイント非対応 | トミックスTCS※製品非対応

TCS 「TCS」は、Terminal Connection System(ターミナル コネクション システム)の略称で、信号機や自動踏切などの製品どうしを、共通化されたコネクターを持つ電源供給用コードによって、次々につなげられ、配線を簡潔に行なえるシステムです。これらの製品名の頭には、TCSが付いています。

⚠ 注 意(ちゅうい)

保護者の方へ 必ずお読みください。

- ●この商品には小さな部品が使われており、誤って飲み込むと思わぬ事故の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ●機能上、とがっている部品がありますので危険です。使用目的以外には絶対に遊ばないでください。
- ●遊んだ後は、必ず3才未満のお子様の手に触れない所に保管してください。

※この説明書は、必ず保管しておいてください。

<使用上の注意>

本製品は精密にできていますので、取り扱いには十分ご注意ください。別紙(黄色い紙)の注意文と合わせ以下の注意をお守りになり、末長くお楽しみください。

- ○車両の運転や機器のコントロールを行なう場合、必ずそれらの消費電流の合計がコントローラーの定格出力電流以内になるようお使いください。定格以上の電流を流すと、製品の劣化、故障、事故の危険があります。
- ○コネクターの着脱をする際は、必ずコントローラーの電源スイッチが切れていることを確認してから行なってください。電源が入ったまま着脱すると故障や思わぬ事故の原因となります。
- ○コネクターを着脱する際は、必ずコネクター本体を持ち、まっすぐに行なってください。コードを持って引き抜いたり、無理な力を加えると、断線する危険があります。
- ○車両を乗せ換える場合は、必ずコントローラーの電源スイッチが「切」になっていることを確認してから行なってください。電源が入ったままですと、いきなり走り出したり、電気的に大きな負担がかかり、思わぬ事故や故障の原因となります。
- ○通電機能を良好に保つために、こまめに、車輪およびすべてのレールを、市販のレールクリーナーなどでみがいた後、乾ぶきしてください。特に油などを付けないようご注意ください。また、動力車はスムーズな走行になるよう動力機構が精密に仕上がっておりますので、急発進、急停止などの無理な運転はしないようご注意ください。
- ○トミックスのパワーユニットなど、他の電源の同一線路上での併用は絶対にしないでください。
- ○トミックスの車載カメラシステム・信号機システム等のTCS関連製品には対応しておりません。
- ○複雑な線路配置や長大なレイアウトには適しておりません。

2.セット内容

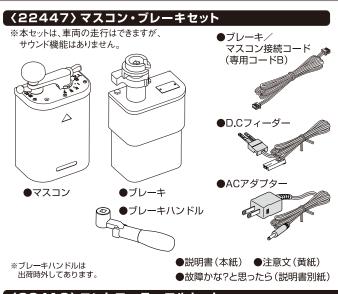
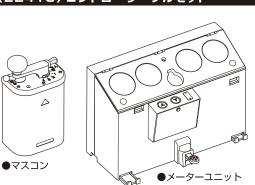
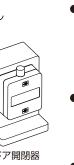
〈22447〉マスコン・ブレーキセット

※本セットは、車両の走行はできますが、サウンド機能はありません。

- ●マスコン
- ●ブレーキ
- ●ブレーキハンドル
- ●ブレーキ/マスコン接続コード(専用コードB)
- ●D.Cフィーダー
- ●ACアダプター
- ●説明書(本紙) ●注意文(黄紙)
- ●故障かな?と思ったら(説明書別紙)

※ブレーキハンドルは出荷時外してあります。

〈22448〉メーター・ドア開閉器セット

※本セットは別売の**〈22447〉マスコン・ブレーキセット**と合わせないと機能しませんので、サウンド機能や車両の走行はできません。

- ●メーターユニット
- ●ドア開閉器
- ●メーターユニット/マスコン接続コード(専用コードA)
- ●説明書(本紙) ●注意文(黄紙)
- ●故障かな?と思ったら(説明書別紙)

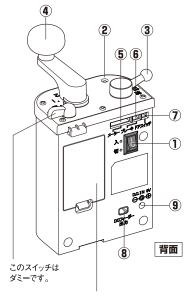
〈22413〉コントローラーフルセット

- ●マスコン
- ●メーターユニット
- ●ブレーキハンドル
- ●ブレーキ
- ●ドア開閉器
- ●メーターユニット/マスコン接続コード(専用コードA)
- ●ブレーキ/マスコン接続コード(専用コードB)
- ●D.Cフィーダー
- ●ACアダプター
- ●説明書(本紙) ●注意文(黄紙)
- ●故障かな?と思ったら(説明書別紙)

※ブレーキハンドルは出荷時外してあります。

3.各部の名称と機能

マスコン

このスイッチはダミーです。

このフタの中にはサウンドモジュールが入っていますので、外さないでください。車両も走行しなくなります。

①.電源スイッチ（緊急時にはこのスイッチを切る）
スイッチの上を押すと「入(ON)」、下を押すと「切(OFF)」になります。スイッチの入れ方で、動作モードを選択できます。
＊詳細は「**6.シミュレーションモード・慣らし走行モードについて**」を参照

②.電源ランプ
電源スイッチを入れると点灯します。

③.ディレクションスイッチ（レバーサー）
列車の進行方向を切換えることが出来ます。（**図1**）

前：列車は左方向に走行します。
切：列車は停止して動きません。
後：列車は右方向に走行します。

※列車走行中は操作しないでください。

図1

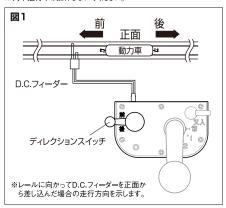
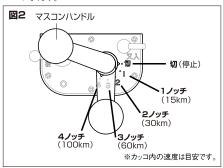
※レールに向かってD.C.フィーダーを正面から差し込んだ場合の走行方向を示します。

④.マスコンハンドル
ハンドルを回転させることにより、速度を4段階に切り替えることができます。（**図2**）
※電源を入れる際は必ず「切」の状態にしてください。故障の原因になります。

図2

※カッコ内の速度は目安です。

⑤.メーターユニットコネクタ
専用コードAでメーターユニットと接続します。

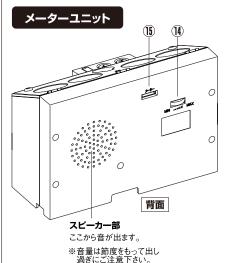
⑥.ブレーキコネクタ
専用コードBでブレーキと接続します。

⑦.ドア開閉器コネクタ
ドア開閉器のコードを接続します。

⑧.D.C.フィーダー出力用コネクタ
付属のD.C.フィーダーでレールと接続します。

⑨.ACアダプター差し込み口
付属のACアダプターで家庭用コンセントと接続します。

メーターユニット

スピーカー部
ここから音が出ます。
※音量は節度をもって出し過ぎにご注意下さい。

⑩.ドアランプ（パイロットランプ）
ドア開閉器のスイッチを押し下げると、開閉音と同時にドアランプが点灯します。

⑪.警笛ペダル（汽笛）
押し下げると、警笛音を鳴らすことができます。
※走行時に鳴らすといったん走行音がとぎれます。

⑫.速度計
列車の走行速度を表示します。
また、速度に応じたサウンドも鳴ります。
※速度は目安です。

速度計

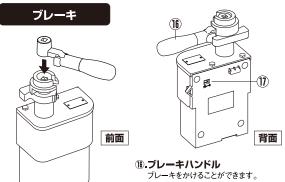
⑬.ブレーキ圧力計
ブレーキのハンドル位置に応じて表示をします。但し、ブレーキハンドルがほぼ真下の時に4.5kg/cm²を表示し、さらにブレーキハンドルを回しても変化しません。
また、ハンドル位置に応じたサウンドも鳴ります。※詳細は下の「ブレーキ」内の図3をご覧下さい。

ブレーキ圧力計

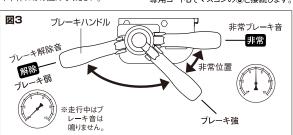
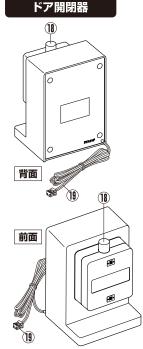
⑭.ボリュームダイヤル
スピーカーから出るサウンドの音量を変化させるダイヤルです。左側のMIN（最小）から右側のMAX（最大）まで、ダイヤルを回して操作してください。左側に回し切ると音が切れます。

⑮.メーターユニットコネクタ
専用コードAでマスコンの⑤と接続します。

ブレーキ

イラストのように、ハンドルをブレーキ本体にはめ込んでください。

⑯.ブレーキハンドル
ブレーキをかけることができます。
解除位置でないと車両は動きません。
ブレーキハンドルは取り外しが可能です。

⑰.ブレーキコネクタ
専用コードBでマスコンの⑥と接続します。

図3

ドア開閉器

⑱.ドア開閉スイッチ（車掌スイッチ）
スイッチを押し下げると、ドア開閉音と同時にメーターユニットのドアランプ⑩が点灯します。逆にスイッチを押し上げると、ドア開閉音と同時にドアランプが消灯します。（**図4**）
※スイッチは中間位置などでは止めたりせず、必ず下げきるか、上げきってください。故障の原因となります。
※車両が走行中の場合はドア開閉の動作は反映されません。

⑲.ドア開閉器コネクタ
マスコンの⑦に接続します。

図4

4.各ユニットの接続方法

各ユニットの取り付け

メーターユニットにマスコンと、ブレーキを取り付けます。

メーターユニット
ブレーキ
マスコン

受け部
フック
メーターユニット
マスコン又はブレーキ
フック
受け部

①マスコン又はブレーキのフックをメーターユニットの受け部にはめ込みます。

②メータユニットのフックにマスコン又はブレーキの受け部を押し下げてはめ込みます。

セッティング

各ユニットにコード類などを接続します。 ※マスコン・ブレーキセットのみをご購入の場合、メーターユニット、ドア開閉器との接続はありません。

※コネクターには、上下の向きがあります。図のように向きに注意のうえ、接続してください。

上
下

1 コードを接続する前に、各スイッチやレバーなどの位置を確認し、セットします。

①**電源スイッチ**は「**切**」に。

②**ボリュームダイヤル**は「音が出る位置」に。

MIN MAX

2 コードを接続します。
接続位置につきましては図を参照してください。
また、コードは全て形状が異なっております。無理に差し込んだりされないようご注意ください。

3 最終確認として以下のことに注意してください。
- レール上に障害物やショートの原因となる金属物が置かれていないこと。
- コネクターは奥まで入っていること。

専用コードA
専用コードB
家庭用電源 AC100V専用 コンセントへ
ACアダプター
マスコン
D.C.フィーダー
ドア開閉器
ブレーキ
メーターユニット
D.C.フィーダーN
トミックスレールへ

Fマークが上になるようにして差します。

※ACアダプターは電源スイッチを「入」に入れる直前までコンセント側の接続はしないでください。
※ACアダプターは家庭用電源AC100V専用です。

5.運転の基本操作（※マスコン・ブレーキセットのみでは、メーター、サウンド機能はありません。）

1 運転準備

動力車
レール
ドアランプ
ディレクションスイッチ
ブレーキハンドル
マスコンハンドル

①スイッチ、ハンドル位置の確認
- ディレクションスイッチは「**切**」に。
- ブレーキハンドルは「**非常位置**」に。
- マスコンハンドルは「**切**」に。
- ドア開閉スイッチは「**閉**」に。

②レール上に動力車を載せます。

③電源スイッチを「**入**」にします。

④ドアランプが点滅し、自動で速度計の調整が行なわれます。

2 走行開始 → 加速

加速

使用する動力車やレールなどの条件により、走り出しが遅くなる場合があります。

①**ディレクションスイッチ**は「切」から「**前**」又は「**後**」に。

②**ブレーキハンドル**は「非常停止」から「**解除**」に。

③**マスコンハンドル**は「切」から「**1**」へ。
動力車はゆっくりと進行方向に走りはじめます。
加速音と共に速度計が動き出します。

④**マスコンハンドルをゆっくり**2～4（任意）に。
※任意のノッチ位置の設定速度になると一定速度を維持します。

3 減速 → 停止

減速
停止

①マスコンハンドルを「**切**」にする。

②減速させるには、ブレーキハンドルを右方向に回します。
動力車は減速を開始します。

※マスコンハンドルを戻さないでブレーキハンドルを解除すると、ノッチ設定速度まで再加速します。

※非常ブレーキ音は1度しか鳴りません。一度ブレーキハンドルを「解除」まで戻すことで、非常ブレーキ音を再度鳴らすことが出来ます。

■マスコン単独で使用する場合

①「**4.各ユニットの接続方法**の**セッティング**」を参考にマスコンだけ配線します。（ブレーキは使用しません。）

②レール上に動力車を載せます。

③ディレクションスイッチを『**切**』の位置から、『**前**』または『**後**』の位置に切り替えてください。

④マスコンハンドルをゆっくり回し、車両のスピードをコントロールしてください。マスコンハンドルを戻すと減速します。

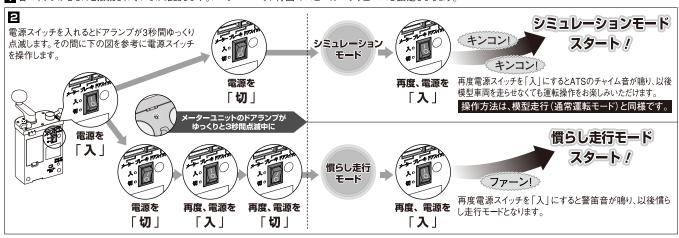
⑤使用後はマスコンハンドルを『**切**』。ディレクションスイッチを『**切**』にして運転を終了させてください。

※マスコン単独で使用した場合、加速度が異なります。
詳しくはP4の「7.仕様」を参照ください。

6.シミュレーションモード・慣らし走行モードについて （この説明はフルセットの場合のみ）

シミュレーションモードとは、模型車両を走らせなくても、サウンド、メーターが連動し、運転操作を楽しめる機能です。
慣らし走行モードとは、模型車両の慣らし走行ができるモードです（サウンド・メーター機能はありません）。通常運転モードで走行開始しない場合は、このモードで前進・後進で4ノッチまで慣らし走行してみてください。

1 各コネクタがきちんと接続されているか確認します。メーターユニット背面のスピーカーボリュームも設定しましょう。

2
電源スイッチを入れるとドアランプが3秒間ゆっくり点滅します。その間に下の図を参考に電源スイッチを操作します。

※つづけて模型走行（通常運転モード）をお楽しみいただくには、再度電源スイッチを「切」にしてから「入」にしてください。

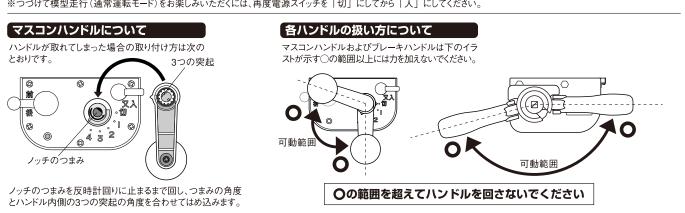
マスコンハンドルについて

ハンドルが取れてしまった場合の取り付け方は次のとおりです。

ノッチのつまみを反時計回りに止まるまで回し、つまみの角度とハンドル内側の3つの突起の角度を合わせてはめ込みます。

各ハンドルの扱い方について

マスコンハンドルおよびブレーキハンドルは下のイラストが示す○の範囲以上には力を加えないでください。

○の範囲を超えてハンドルを回さないでください

7.仕様

接続・動作の種類について

接続モード		機能説明	動力車の走行			サウンド	メーター
				加減速レート	戻しノッチ		
フルセット接続	通常運転モード	動力車の走行・サウンドと各ユニットの機能が全て使用できます。	○	ゆるやか	× 不可	○	○
	シミュレーションモード	動力車は不要。それ以外は通常運転モードと同様です。	—	ゆるやか（メーターのみ）	× 不可	○	○
	慣らし走行モード	動力車の慣らし走行ができます。サウンド・メーター機能はありません。	○	急速	○	—	—
マスコン・ブレーキ接続		動力車の走行ができます。サウンド機能はありません。	○	ゆるやか	× 不可	—	—
マスコン単体接続		動力車の加減速がフルセット接続と異なります。サウンド機能はありません。	○	急速	○	—	—

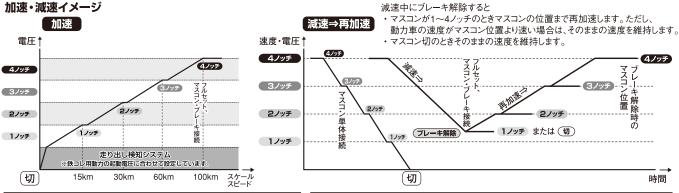
加速・減速イメージ

減速中にブレーキ解除すると
・マスコンが1～4ノッチのときマスコンの位置まで再加速します。ただし、動力車の速度がマスコン位置より速い場合は、そのままの速度を維持します。
・マスコン切のときそのままの速度を維持します。

マスコンについて

○ノッチ ※速度はあくまでも目安です。
1 ・・・・・・・・・・・・・・ 15km/h
2 ・・・・・・・・・・・・・・ 30km/h
3 ・・・・・・・・・・・・・・ 60km/h
4 ・・・・・・・・・・・・・・100km/h

○ディレクションスイッチ
前・・・・・・・・・・・・・・左方向に進行
切・・・・・・・・・・・・・・停止
後・・・・・・・・・・・・・・右方向に進行
※列車走行中は操作しないでください。

○D.C.フィーダー出力
定格出力電流・・・・・・・最大500mA

電源入り時のドアランプの点滅について

本機は電源が入ると次の2段階でメーターユニットのドアランプが点滅し、状態を表示します。
①ゆっくり点滅（約3秒）・・・・・・・シミュレーションモード・慣らし走行モード切替え用
②早く点滅（約3～5秒）・・・・・・・内部回路・メーター設定・調整中
シミュレーションモード・慣らし走行モードの切替え以外の操作は、ドアランプの点滅が終わるまでお待ちください。

ご注意：大変危険ですのでショートの原因になるような金属物が、レール上にのらないように十分注意してください。

■保護装置が作動した時は

本製品にはショートによって過電流が流れた場合に、安全のため電流を遮断する機能が組み込まれております。
その場合は、電源スイッチを「切」にして運転をとりやめ、原因を取り除いてください。原因には、車両の脱線やレール上の金属物によるショート、定格以上の機器や室内灯を取り付けた車両を走行させた場合などが考えられます。
原因を取り除いたら、電源スイッチを「入」にし、電源ランプが点灯することを確認して、運転を再開してください。

イラストは商品と多少異なる場合があります。

TOMYTEC 発売元 株式会社トミーテック
〒124-8511 東京都葛飾区立石7-9-10
トミーテックお客様相談室 ニューホビー係 TEL 03(3695)3161(代)
電話受付 月～金曜日（祝・祭・休日を除く）10～12時 13～17時
ver.1 2010/07